



・図書館員は楽チン??
 ・登録件数はうなぎのぼり!?

SWANの特徴

教員業績データベースとの密接な連携による入力効率化・省力化

教員業績データベースとリポジトリシステムを有機的に連携させ、双方向にデータの流用が可能となり、効率化・省力化に大きく貢献。共著者が先行してリポジトリに登録している場合、他の共著者の入力省力化を実現。

豊富な入力支援ツールを提供

セルフアーカイビングを実現するために、次のような独自開発による各種入力支援ツールを提供。

著者典拠

学内構成員については、著者名典拠ファイルを構築、参照可能に。

誌名典拠(ジャーナルカラー付)

独自に作成した誌名リストから、誌名情報の参照・取り込みが可能に。

出版社許諾情報(ジャーナルカラー)

誌名典拠リストには、出版社許諾情報を付し、登録者自らが許諾情報を確認可能に。

学協会・出版社リスト(連絡先・投稿規定へのリンク付)

リンクリゾルバからの書誌取込み(近日中)

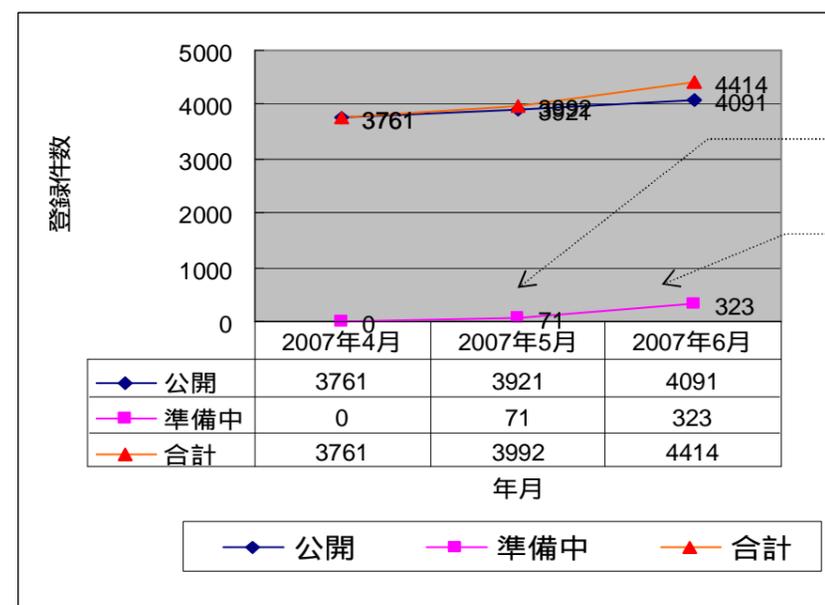
SWANの現況

登録件数

コンテンツ種別ごとの登録件数

	雑誌記事	学術論文	技術報告	紀要	学位論文	会議論文	会議発表	図書	合計
公開		1		4089				1	4091
準備中	4	198	7	5	1	68	24	16	323
合計	4	199	7	4094	1	68	24	17	4414

登録件数の推移(2007.4~)



イベント

5/16 登録ID交付

6/13 登録説明会

*5月以降に新規登録された現在準備中のデータは、すべてセルフアーカイブによるもの。



System

(システムの概要)

システム構成イメージ

ソフトウェア

CMS社 E-Repository

サーバ構成

Linuxサーバ(学術情報リポジトリSWAN)

Windowsサーバ(大学評価情報データベース)*

FreeBSDサーバ(研究紀要全文データベース)*

Windowsサーバ(入力支援ツール)

*印は既存システム

システム間の連携

システム間の連携をとることにより、個々のシステムの違いを超えて、有機的に機能するシステムを実現。また、既存システムの資産を生かして初期構築コストを低減させた。

大学評価情報データベースからリポジトリへのデータ流用

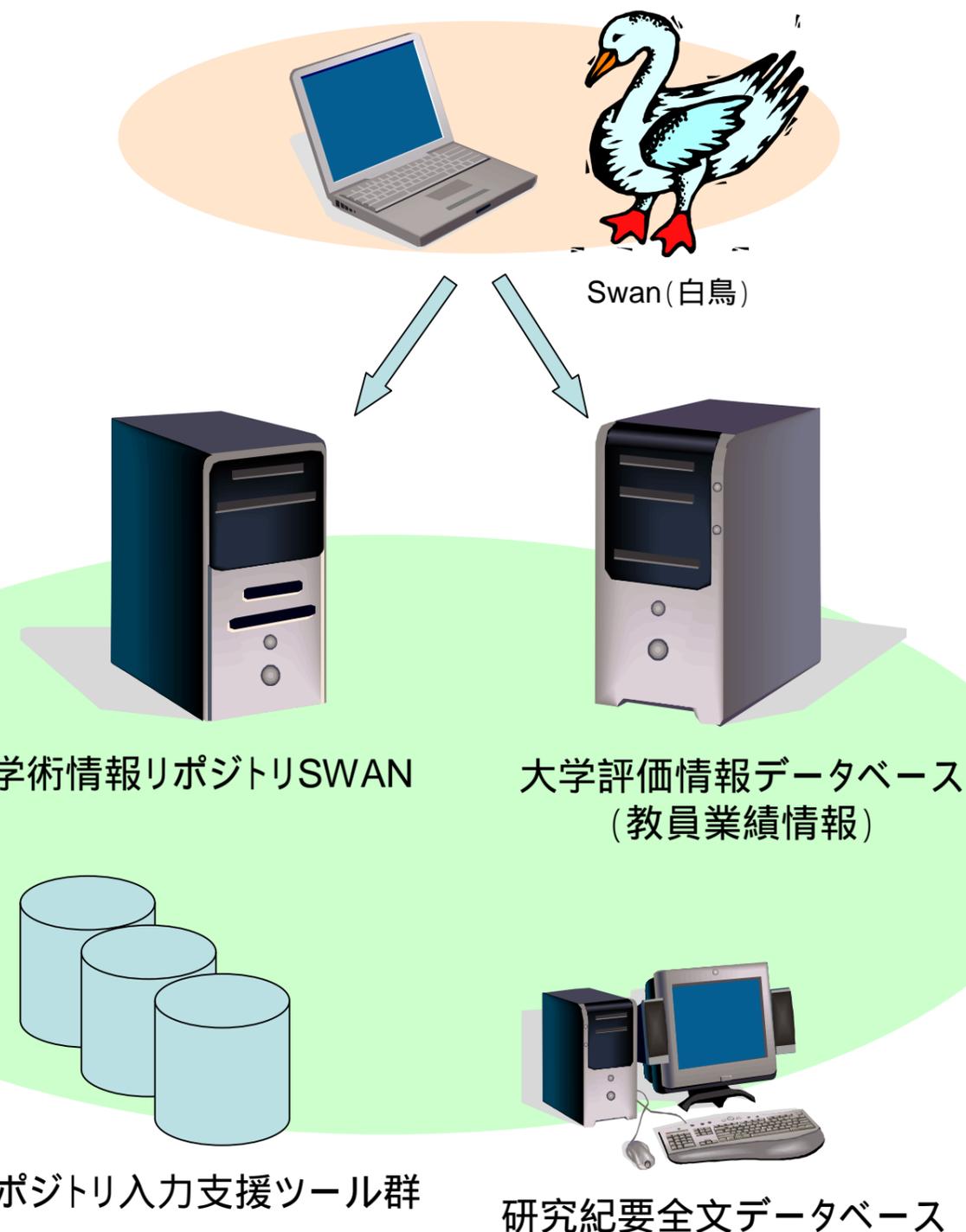
FORM CGI + JavaScript

リポジトリから大学評価情報データベースへのデータ流用

ASP + ODBC + JavaScript

研究紀要全文データベースからのメタデータの取り込み

ASP + ODBC + 一括Upload機能





Uploading

(業績データベースとリポジトリの連携)

登録の流れ1

教員業績情報 → リポジトリ

教員業績情報を登録する一連の流れの中で、リポジトリへコンテンツの登録を行う。

リポジトリ入力支援ツール群

登録ガイド

教員業績情報の入力

業績情報は登録完了

リポジトリへの登録

著者典拠

誌名典拠

出版社許諾情報

カラー	内容
Green	査読前・査読後の論文のアーカイブを認める
Blue	査読後の論文のアーカイブを認める
Yellow	査読前の論文のアーカイブを認める
White	リポジトリへのアーカイブを認めていない
Gray	検討中・調査中・その他

教員業績情報の新規登録・更新時にリポジトリへの登録ができる。

教員業績情報が登録され、同時にリポジトリ登録画面が開く。リポジトリ登録画面には、教員業績情報からデータが自動的に埋め込まれている。詳細な登録ガイドに従って、追加情報を入力し、リポジトリ登録を行う。



Goal

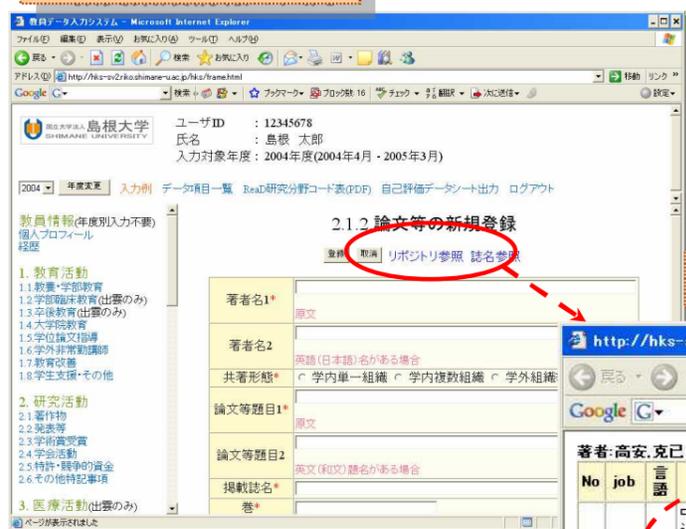
(目標)

登録の流れ2

リポジトリ → 教員業績情報

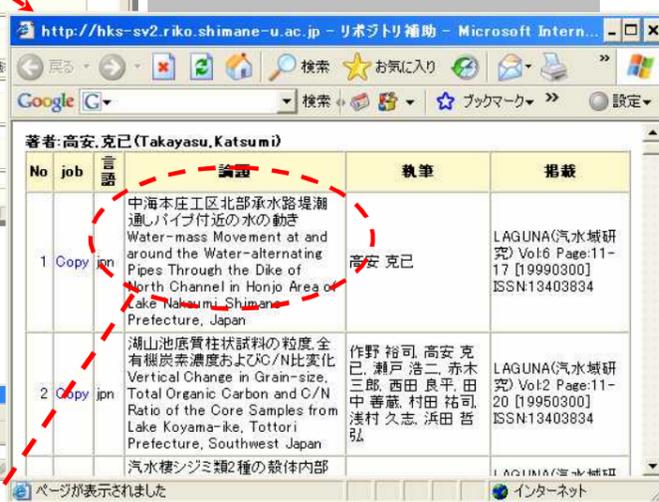
リポジトリに登録した情報を流用して教員業績情報を登録する。

教員業績情報の入力

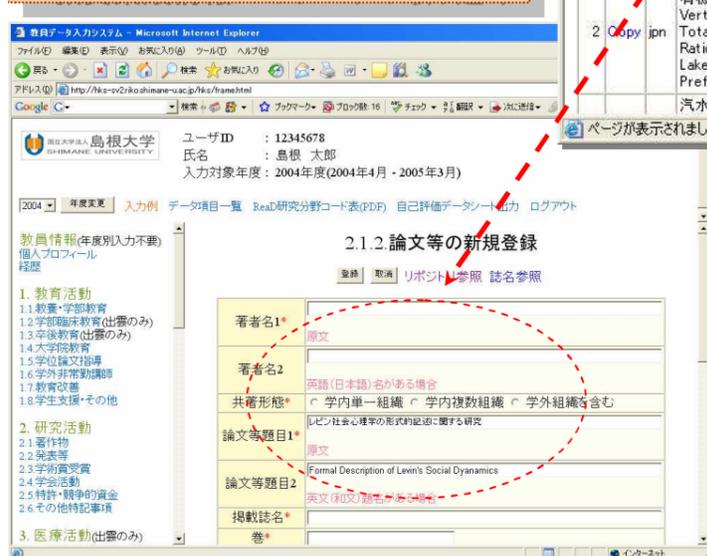


教員情報の新規登録時に、リポジトリ参照を行うことで、リポジトリに登録済みの業績を取り込むことができる。

リポジトリ登録情報の参照



教員業績情報へのデータの取り込み



SWANが目指すもの

セルフアーカイビングの一層の推進

広報・プロモーション活動の強化によるセルフアーカイビングの促進

他システムとの連携による利用促進

教員研究情報データベース(業績一覧)、クロスサーチ検索

リンクリゾルバ

主題リポジトリ

貴重資料デジタルアーカイブスのリポジトリシステムによる発信

地域リポジトリ(遺跡リポジトリ)

県及び市町村教育委員会と連携し、遺跡発掘調査報告書を遺跡リポジトリシステムによる発信を検討中

